

書 について

62期生

I テーマ設定の理由

幼い頃から書道習っているが、書道の歴史や様々な書体と古典について知らないことが多い。また、最近では試験などで全く知らない古典を書くことがある。そこで、書体の変化や古典作品、書家について詳しく調べてみようと思った。

II 研究方法

1. 文献調査
2. 実際に古典作品を書き、気付いたことをまとめる

III 研究内容

1. 書体の変化

甲骨文→金文→石鼓文(大篆)→小篆→
隸書→草書→行書→楷書

(1) 甲骨文(写真1)

東洋の文字の起源。中国・殷の時代に
使われており、動物の骨に刻まれていた。



写真1

(2) 金文(写真2)

殷から周にかけて青銅器などに刻まれ
ていた。



写真2

(3) 石鼓文(写真3)

秦の時代に石の太鼓に刻まれていた。
大篆という書体の典型といわれている。



写真3

(4) 小篆(写真4)

大篆を簡略化したもの。秦の始皇帝が
文字を統一するために作らせ、公式の文
字とした。



写真4

(5) 隸書(写真5)

漢の時代の公式文字。秦の時代、小篆
が公式文字だったが実際は隸書が書かれ
ていた。



写真5

(6) 草書(写真6)

隸書が日常で速書きされるうちに「章
草体」、やがて草書が生まれる。



写真6

(7) 行書 (写真7)

隷書が速書きされるうちに生まれた。

(8) 楷書 (写真8)

隷書の速書きを整えて書くうちに生まれた。



写真7



写真8

2. 楷書

私たちが学校で習う教育書体のもとになっている。代表的な古典作品として、九成宮醴泉銘 (欧陽詢)・皇甫誕碑 (欧陽詢)・孔子廟堂碑 (虞世南)・雁塔聖教序 (ちよ遂良) などがある。

(1) 九成宮醴泉銘 (欧陽詢) (写真9)

初唐時代632年、唐の太宗皇帝と皇后が離宮内を散歩している際、泉を発見した。二人が歩いていた宮殿「九成宮」は水に乏しかったので、記念碑「九成宮醴泉銘」を建立した。

〈特徴〉

- ・普通は一画で書く折れを二画で書く
- ・横画と縦画が交わる時、横画は左が長くなるように交わる
- ・点画がはっきりしている
- ・教育書体に比べ、丸みが少ない
- ・線が鋭く、字が力強い
- ・横画の間隔が均等である

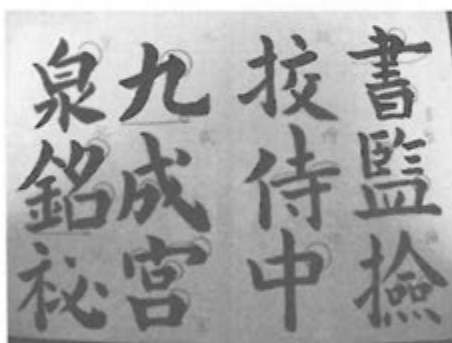


写真9

(2) 皇甫誕碑 (欧陽詢) (写真10)

九成宮醴泉銘と同じく欧陽詢が書いたもの。これは晩年近くに書かれたといわれており、欧陽詢の書は晩年に近づくほど、線が細くなっているといわれている。

〈特徴〉

- ・横画と縦画が交わる時、横画の左右はほぼ同じ長さである
- ・点画がはっきりしている
- ・教育書体に比べ、丸みが少ない
- ・線が細く鋭い
- ・横画の間隔が均等である

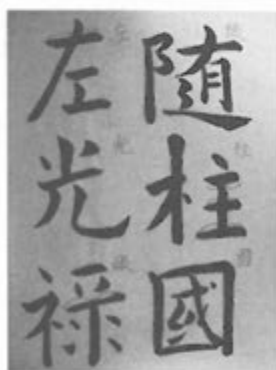


写真10

3. 行書

楷書に次いで現在日常で多く使われている書体。代表的な古典作品として、蘭亭序 (王羲之)・集字聖教序 (王羲之)・風信帖 (空海) などがある。

(1) 蘭亭序 (王羲之) (写真11)

353年3月3日に中国の山の麓にある蘭亭という庭で宴会が行われた。蘭亭序は、そのときに詠まれた詩を集めて王羲之が一卷にまとめたもの。また、之という字が20ヶ所書かれているが、全て意図的に変化させられていて、同じ形が一つもないことで有名である。

〈特徴〉

- ・線の太細など表現豊かである
- ・線が丸みを帯びている
- ・横画の斜め上がりが急である
- ・横画の間隔が均等でない
- ・字に迫力がある

(2) 風信帖 (空海) (写真12)

空海が最澄に宛てた手紙三通を一卷にまとめたもの。王羲之の書法をもとにしたといわれている。

〈特徴〉

- ・折れがはっきりとせず丸まっている
- ・線が流れているように見える
- ・同じ行書であるが、蘭亭序や集字聖教序より字がくずれている
- ・線の太細など表現豊かである
- ・線が丸みを帯びている
- ・省略されている点画がある



写真11

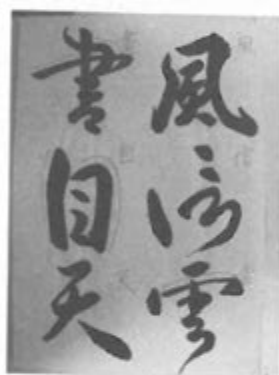


写真12

4. 草書

流れに重点を置いた書風。行書よりも点画の省略が多いのも特徴の一つ。代表的な古典作品として、書譜(孫過庭)・十七帖(王羲之)などがある。

(1) 書譜 (孫過庭) (写真13)

王羲之を中心とした書家について、書の技法や学習方法などを解説したもので、687年に書かれた。文章も書も孫過庭によって書かれたのではないかといわれているが、色々な説がある。感情によって表現されており、前半では硬さ、中間では変化とスピード感、後半では乱暴に見えるくらい激しい部分がある。

〈特徴〉

- ・線の太細など表現豊かである
- ・線が流れている
- ・筆送りが自然で綺麗である
- ・字は柔らかいが迫力もある

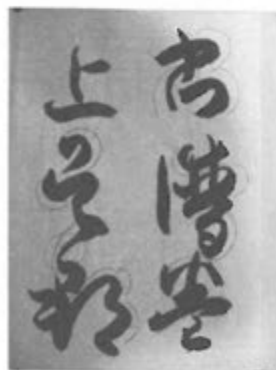


写真13

(2) 十七帖（王羲之）（写真14）

王羲之が書いた手紙を集めて一巻にまとめたもの。書き出しの「十七日」をとり「十七帖」とされた。唐の太宗のもとで編集されたといわれている。草書の龍と呼ばれている。

〈特徴〉

- ・線の太細など表現豊かである
- ・入筆が斜めであることが多い
- ・線が丸みを帯びている
- ・字が柔らかく見える



写真14

5. 隸書

隸書の「隸」とは、書体の発生において一つ前の小篆に隸属するという意味だといわれている。隸書の主な特徴は波磔（横画の終筆を右払いすること）があることと、全ての点画で逆入すること、筆先が線の中央を通るという中鋒で書くことである。代表的な古典作品として、礼器碑（書者不明）・曹全碑（書者不明）などがある。

(1) 礼器碑（書者不明）（写真15）

156年に石碑に刻まれた。書者は不明。功績に対して、その徳を讃えたもの。

〈特徴〉

- ・波磔が一文字につき、最低一つはある
- ・逆入の影響で、入筆が平べったい
- ・中鋒の影響で、線の太細などの表現が乏しい
- ・字が横長で平たい

(2) 曹全碑（書者不明）

185年に書かれた。このこと以外は分かっていない。

〈特徴〉

- ・波磔があまり目立ってない
- ・線が細く、太さが均一である
- ・全ての入筆が平べったい
- ・礼器碑より線が細いので字が弱々しく見える



写真15

6. 篆書

甲骨文・金文・石鼓文・大篆・小篆を総称して篆書という。現在、印鑑などに使われている。代表的な古典作品として、泰山刻石（始皇帝）などがある。

(1) 泰山刻石（始皇帝）（写真16）

紀元前221年に韓・魏・趙・楚・燕・斉の六国を滅ぼし、中国大陆を統一した始皇帝は文字の統一にも着手した。当時は大篆が使われていたが、地域によって書体は様々だった。そこで、始皇帝はそれらを小篆という一つの書体に統一した。

そして、始皇帝は自らのその権力を知らしめるために各地を巡り、6ヶ所に自らを讃える石碑を建てた。その中で現存するのが泰山刻石である。泰山刻石は中国の泰山という山の頂上に

刻まれたもので、本来は222字あったとされるが、破損がひどいため現在は10字しか残っていない。

〈特徴〉

- ・線が反っているため、字の囲みが丸い
- ・はらい、はねが全くなく、終筆は全て止められている
- ・中鋒の影響で、線の太さがほぼ均一である
- ・逆入のため入筆が丸い
- ・折れが丸いので、字が柔らかく見える



写真16

7. 王羲之

王羲之は書道史上、最も優れた書家で書聖と称される。また、顔真卿とともに中国書道界の二大宗師とも言われた。

秦・漢の時代の字体などを研究し、それぞれの字体を楷書・行書・草書などと組み合わせ、貴族的で力強く優美な書体が特徴的だ。

「書道の革命家」、「書道の最高峰」とも言われ、書道の一つの独立した芸術としての地位を確保し、後世の書道家達に大きな影響を与えた。後の時代の書道家達は、ほぼ全員が王羲之を手本として何らかの影響を受けたと言っている。そのため、「書道を習う者はまず王羲之を学んでから他を学べ」「王羲之の文字でなければ文字ではない」とさえ言われた。

【主な王羲之の古典作品】

〈楷書〉

- ・楽毅論 (348年)

日本では光明皇后がこれを書き写したと伝えられるものが正倉院に残っている。

- ・黄庭経 (356年)
- ・東方朔画賛 (356年)
- ・孝女曹娥碑 (358年)

〈行書〉

- ・蘭亭序 (353年)
- ・集字聖教序
- ・興福寺断碑 (721年)
- ・喪乱帖
- ・孔侍中帖
- ・快雪時晴帖

〈草書〉

- ・十七帖
- ・游目帖
- ・初月帖
- ・寒切帖
- ・遠宦帖

IV 研究のまとめ

1. 書体について

書体の変化	代表的な古典作品
甲骨文 ↓ 金文 ↓ 大篆(石鼓文) ↓ 小篆 ↓ 隸書	泰山刻石 (始皇帝)
草書	書譜 (孫過庭) 十七帖 (王羲之)
行書	蘭亭序 (王羲之) 集字聖教序 (王羲之) 風信帖 (空海)
楷書	九成宮醴泉銘 (歐陽詢) 皇甫誕碑 (歐陽詢)

2. 王羲之について

書聖と称され、後の時代の書道家達に大きな影響を与えた。「書道を習う者はまず、王羲之を学んでから他を学べ」、「王羲之の文字でなければ文字ではない」と言われるほど優れていた。

V 参考文献

- ・鈴木洋保、弓野隆之、菅野智明 『中国書人名鑑』 二玄社 2007年10月
- ・桃山紳介 『欧陽詢～九成宮醴泉銘・皇甫誕碑～』 マール社 1991年12月
- ・桃山紳介 『王羲之～蘭亭序・十七帖～』 マール社 1990年5月
- ・横山豊蘭 『書道の教科書』 実業之日本社 2008年11月